



# 相模原市立 公文書館だより

第3号 平成28年5月

## 公文書館って何をするとところ!? ~ 公文書館への誘い

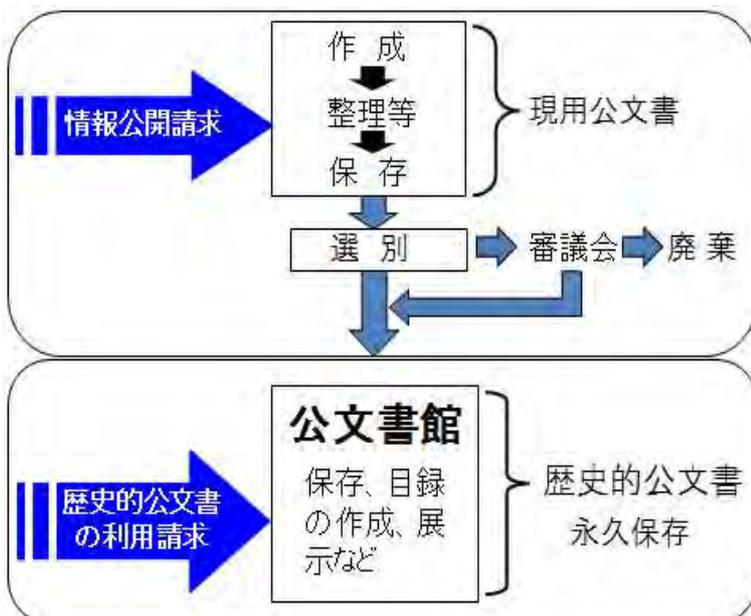
公文書館とは何をするとところかご存知ですか。公文書館は、保存期間が満了した公文書のうち後世に残すべき重要公文書について、歴史的公文書として集中管理を行うとともに、市民の皆さまが閲覧などで利用できる施設です。

公文書館には、平成28年3月末現在で約15,800件の歴史的公文書が目録化されています。この目録は、公文書館でご覧いただけるとともにインターネットで検索することができます。歴史的公文書を利用するには、目録の中から歴史的公文書を特定し、利用請求書を公文書館に提出していただきます。利用の可否は、2週間以内に決定し、請求者に通知します。



利用請求書の提出後、原則として

### 公文書の流れ



歴史的公文書の利用に当たっては、原本を直接見るだけでなく、デジタルカメラでの撮影も可能です。公文書館では、このように歴史的公文書の請求についての受付や相談を行っています。

また、歴史的公文書を多くの方に身近に知っていただくため、企画展示や講演会などを開催することも公文書館の役割です。

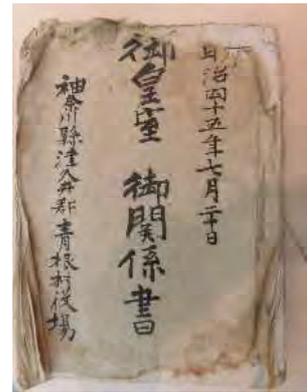
この他にも市の予算書や統計書などの行政資料、ポスターやパンフレットなどの広報的資料を配架し、皆さまをお待ちしています。

公文書館は土・日・祝日も開館していますので、ぜひご利用ください。

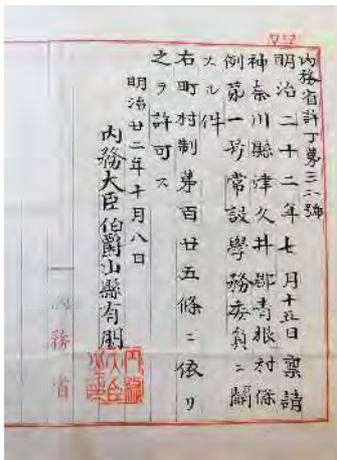
## 第4回企画展「明治の時代の文書展」

平成27年10月22日から12月27日まで「明治の時代の文書展」の展示を行い、期間中320人の来館者がありました。

明治10年代から明治40年代の公文書など31点をご覧いただき、現在と違う行政の制度や、くずし字の文書などに驚かれ、「貴重な文書を実際に見ることが重要」との声を多数いただきました。



< 御皇室御関係書 >



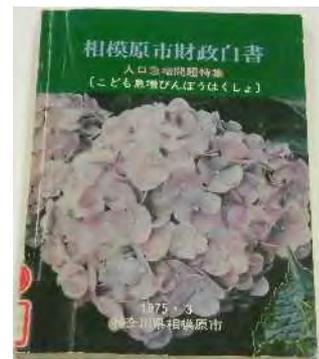
< 村条例許可証 >

### 主な展示文書

- 明治14年 郡役所達（郡から村に対する様々な指導・指示の文書）
- 明治22年～26年 町村制関係書類（村長、助役選挙に関する文書など）
- 明治22年 村条例許可証（青根村の条例第一号の許可証）
- 明治24年～31年 烏屋村村会議事録（水力発電所設置の議決などの文書）
- 明治45年 御皇室御関係書（明治天皇御崩御の際の通知文など）

## 第5回企画展「人口急増と相模原の発展」

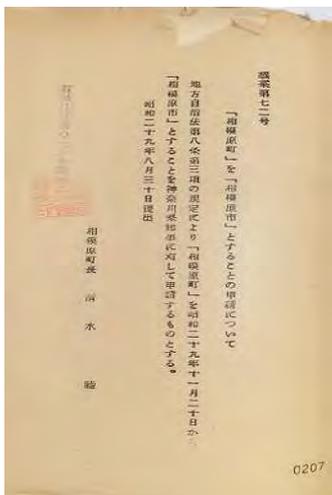
平成28年1月31日から4月10日まで「人口急増と相模原の発展」の展示を行いました。期間中295人の来館者があり、相模原町町制祝賀会関係（昭和16年）の公文書をはじめ、行政資料など、約60点の資料をご覧いただきました。



< 相模原市財政白書【こども急増びんぼうはくしょ】 >

### 主な展示文書

- 相模原町制祝賀式次第（昭和16年）
- 「相模原町」を「相模原市」とすることの申請について（昭和29年）
- 議案第六十二号相模原市工場誘致の奨励措置に関する条例（昭和30年）
- 相模原市財政白書【こども急増びんぼうはくしょ】（昭和50年）
- 合併までの歩み 新「相模原市」誕生（平成19年）
- 市制施行60周年記念要覧（平成26年）



< 「相模原町」を「相模原市」とすることの申請について >

## 行政資料の紹介

公文書館では行政資料の保存や販売も行っています。  
皆さまからお問い合わせの多い行政資料の一部をご紹介します。



「私たちの相模原」平成28年度版 相模原市教育委員会発行  
市立中学校社会科副読本として、毎年発行されています。  
中学生向けだからとあなどるなかれ。この本一冊で相模原の成り立ちや生活の様子、発展の状況などがわかります。  
相模原の自然と人々の生活 産業の移り変わり 原始・古代、中世、江戸時代の相模原、近代相模原の歩み 相模原の教育と文化 相模原市の財政 未来の相模原（販価 560円）



「相模原市と米軍基地」平成27年3月 相模原市発行  
本市域にはキャンプ座間、相模総合補給廠、相模原住宅地区の3つの米軍基地が所在します。「相模原市と米軍基地」は、本市と米軍基地の関係や基地を取り巻く諸問題等について、とりまとめたもので13年ぶりに刊行されました。（販価 1,500円）



「相模原市議会会議録」  
相模原市議会会議録は、市制が施行された昭和29年11月25日の第一臨時会から最近の市議会会議録までご自由に閲覧できます。

## 相談事例の紹介 其の1

公文書館では歴史的公文書や行政資料等に関する相談をお受けしています。  
今までにお受けした事例を紹介します。

質問：明治35年の川尻村の戸数と人口を知りたい。

○回答：「城山町史7 通史編 近現代」146 ページに『明治中期 川尻村の戸数・人口』の表（八木七之助「諸税負担趨勢」より作成）があり、明治22年から同35年までの数値が記載されている。明治35年の戸数470戸、人口は2,499人とある。

「村勢要覧 川尻村 1951」によると、明治35年度は戸数470戸、人口は男1,211人、女1,278人、計2,489人とある。

上記2点の行政資料をご案内しました。

## 第3回講演会「わがまちの変遷」

平成28年3月5日(土)午後2時から午後4時まで、公文書館の第3回目となる講演会を開催しました。講師には、現在相模原市史編集委員、相模原郷土懇話会会長で、元相模原市職員の石井篁氏にお願いし、「相模原町の誕生、そして市制施行後、内陸工業都市、住宅都市として急速な発展を遂げてきた相模原の歩み」を振り返ってご講演をいただきました。



講師の石井 篁氏

44名の方に参加いただき、「軍都としての発展について」「工場誘致はどのように行われたのか。」「市財政白書(こども急増びんぼうはくしょ)の発行について」などの質問があり、また、人口急増時に市外から転入されて相模原をよく知らないという方からは、「相模原の歴史に触れる良い機会だった。」などのご意見が寄せられました。

### お知らせ (第6回企画展および公文書館講座)

#### 第6回企画展「歴史的公文書の分類とその利用」

概要：市が所蔵している歴史的公文書等を年代や種類別に展示します。

#### 公文書館講座「はじめての公文書館 ～歴史的公文書の利用～」

概要：公文書館設置の意義と役割について理解を深めていただく機会にするとともに、歴史的公文書の利用について実践・体験することを目的とした講座です。

### 公文書館の今後の事業予定

#### 第6回企画展

#### 「歴史的公文書の分類とその利用」

(平成28年5月17日～8月14日)

#### 公文書館講座

#### 「はじめての公文書館～歴史的公文書の利用～」

(平成28年7月を予定)

#### 第7回企画展

平成28年秋頃を予定

#### 第4回講演会

平成28年秋頃を予定

詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせします。

#### ～編集後記～

企画展では、来館された方から展示した資料を基に当時のことやご自分が研究されている事柄を教えていただく機会があり大変参考になります。

これからも、いろいろなテーマに焦点をあて、展示が行えればと考えています。市民の皆さまに支えられ親しまれる公文書館でありたいと思っていますので、皆さまのご意見、ご希望をお寄せいただければ幸いです。(T)

公文書館だより 第3号  
編集発行 相模原市立公文書館  
発行日 平成28年5月10日  
〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1  
城山総合事務所第2別館3階  
電話 042-783-8053

